

大学・短大 総合説明



はじめに S (Survey, 調査)、Q (Question, 質問)

- ・今日説明を受ける内容をレジメ (プリント) から予想してみよう。
- ・「知りたいこと」「疑問に思ったこと」を3つ程度書き出してみよう。
 (例) 大学が、専門学校より優れている点はなんだろう？
 (例) 自分は、本当に理系に向いているのか？

Q 1 _____

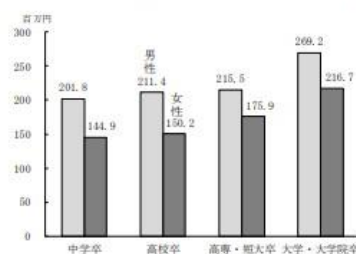
Q 2 _____

Q 3 _____

1 大学・短大・専門学校の違いと、進学する意義

大学進学の意義とは？

図 21-1 生涯賃金 (60 歳まで^注、退職金を含まない、2017 年)



注：学校を卒業しただけに就職し、60 歳で退職するまでフルタイムの正社員を続ける場合 (同一企業継続就業とは限らない)。

ユースフル労働統計 2019

2 学部・学校選択のポイント

分類	例	特徴
大学文系 (国家資格)	小学校教諭 公務員	○ 就職率が高い △ 大学生活が多忙
大学文系	経営学部 文学部	○ 自由度が大きい △
大学理系	工学 理学	○ 就職率が高い △ 大学生活が多忙、費用がやや高い
短大 (国家資格)	幼児教育 栄養	○ 就職率が高い、費用が抑えられる △

キーワード オープンキャンパス、パンフレット (学生目線の記事、ゼミや研究室の紹介) 職業適性検査、社会・文化・科学を知る (新聞、AERA)

3 大学・短大の新入試

ポイント：すべての入試で幅広い学力重視となり、学力検査が必須となる。

高3から	備考	向いている生徒
一般選抜	・幅広い学力 (思考力、表現力) を重視した問題 (記述式、資料の比較等)。	・模試に強い ・安定した英語力 (または理数力)
学校推薦型選抜	・学力検査 (義務化) ・推薦書 (主体性、思考力、協働性、表現力) を義務化 ・資料 (書類) の採用率が高い	・評定平均が高い ・高校の先生の目に見える活躍 (総合的探求の時間など)
総合型選抜	・資料 (書類) の採用率が高い	・自分自身の目に見える活躍 (部活動、地域活動、志望校での研究への熱意)

知っておきたい新用語

- ◇資料 (書類) = 志望理由書、自己PR、活動報告書、学修計画書など。いずれも生徒が書く。
- ◇推薦書 = 幅広い学力を中心に、先生が書く
- ◇学力検査 = 大学入学共通テスト、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等

=メモ R3 (Record, 記録)、R4 (Review, 復習) =

4 学習計画の立て方と勉強方法

- ・ 評定平均値を上げる ⇒ 学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜

勉強時間 = 学年 + 1、土日は倍
(高3の1学期以降は、学年 + 2、土日は倍)

- ・ 幅広い学力 (総合的な探求の時間)、特別活動 (部活動、地域活動など) を意識する
- ・ 文章に慣れる (自己PR、志望理由書、小論文を中心に)

5 学費と奨学金

初年度納入金納入 (振込) の時期と金額の目安

種別	選抜の種類	出願日	合格発表 (納入時期)	初年度納入金の目安 (後期授業料後納の場合)
大学 短大	総合型	9月～	11月～	・99万2000円 (私立理系)
	学校推薦型	11月～	12月～	・77万4000円 (私立文系)
	一般選抜	2月～	2月上旬～	・55万円 (国立大)、

キーワード 奨学金 (学生支援機構)、国の教育ローン、支給型奨学金、学費減免制度

さいごに R1 (Read, 読む)、R2 (Respond, 回答)

※ 「SQ4R 読書術」による